

## 製品仕様

外形寸法	幅462~1800×奥行き404×高さ1529mm		
質量	7kg		
材質	クロス	ポリエステル 防炎加工（「イ」ラベル）	
	支柱	アルミ押出形材 アルマイト仕上	
	ベース	スチール メラミン焼付塗装	
	樹脂部	ABS樹脂	

修理その他ご不明な点についてはお買い求めの販売店  
または、右記のフリーダイヤルまでご連絡ください。

**お客様相談室**

TEL ☎ 0120-074416  
FAX ☎ 0120-402539

JOIFA登録番号

**JOIFA620**

この番号は、社団法人日本オフィス家具協会（JOIFA）における会員登録番号です。オフィス家具の資源・廃棄物問題・リサイクル・PL問題など商品が社会に負う責任体制として、番号を表示しています。

## 取扱説明書

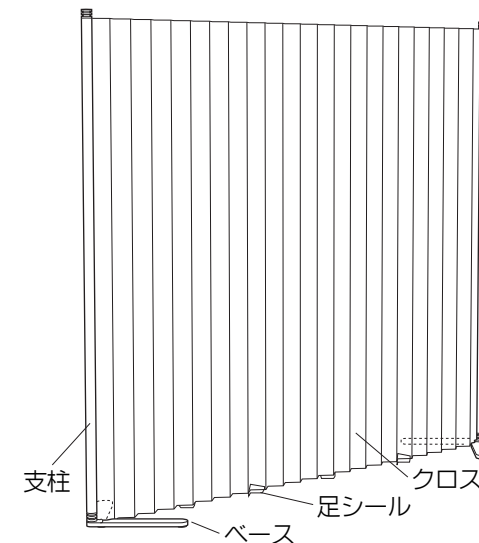
## クロスパーティション CPA-15

このたびはライオン製品「クロスパーティション」をお買い上げいただきありがとうございます。

この説明書は「クロスパーティション」を正しくお使いいただくためのガイドブックです。

この説明書をよくお読みになり内容をご理解されたうえで  
ご使用くださいますようお願いいたします。

また常にこの説明書を手元におかれてご使用されることを  
おすすめします。



### この製品のお取り扱いについて

この製品は「簡易間仕切り」ですので、ドアの代わりにひんばんに開け閉めしないでください。  
機構部の故障やクロスのたるみ等の原因になります。

### ⚠ 安全上の注意

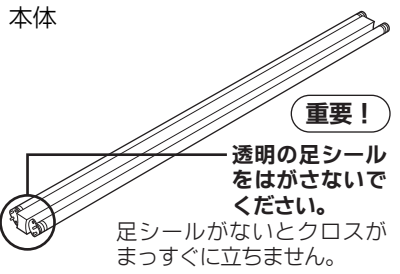
- **乱暴な取り扱いやクロスパーティションの用途以外に使用しないでください。**  
けがや破損の原因になります。
- **製品が転倒して、けがや破損の原因になりますので下記のことにご注意ください。**
  - ・この製品は屋内専用です。屋外で使用すると風で転倒することがあります。
  - ・室内に風が吹き込むときは、クロスパーティションを閉じるか、窓を閉めてください。
  - ・傾斜や凹凸のある場所、毛足の長いじゅうたんの上で使用しないでください。
  - ・商品に乗ったり、寄りかかったりしないでください。
- **誤った取り扱いをすると、製品が転倒してけがや破損の原因になりますので下記のことにご注意ください。**
  - ・クロスを伸縮させるときは、急激に引っ張らないでください。
  - ・最大幅を超えてクロスを引っ張らないでください。
  - ・クロスパーティションを連結したままで動かさないでください。
- **クロスは防炎加工を施しておりますが、たばこや暖房器具等の火気に近付けないでください。**
- **止めネジや部品がゆるんだ状態で使用しないでください。**  
けがや破損の原因になります。
- **製品の分解・改造は絶対にしないでください。**  
けがや破損の原因になります。
- **この製品を第三者に貸すときは、取り扱い方法を十分に説明してください。**

## 組み立て方法

### 注意

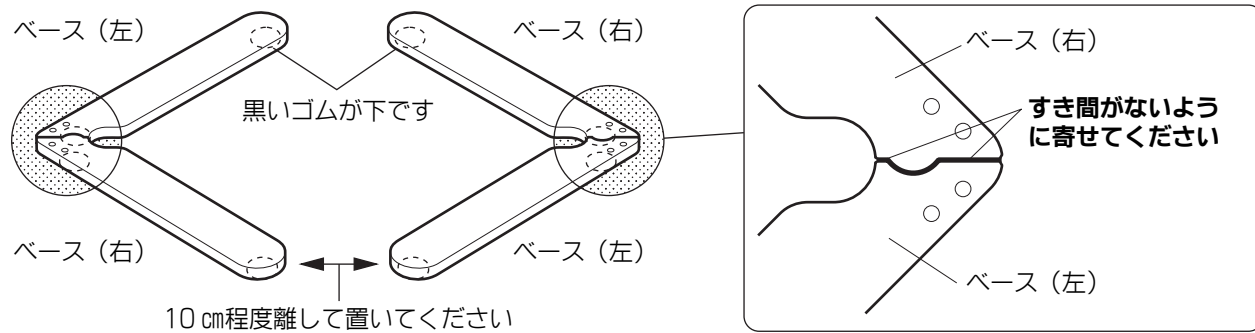
- 組み立て作業中に製品が転倒しないように注意してください。製品が転倒すると、けがや破損の原因になります。
- 本体を動かすときは、クロスをつかんだり押ししたりしないでください。クロスにしわがでることがあります。

**部品明細** ※部品がすべてそろっていることを確認してから組み立ててください。

部品名称	数量	部品名称	数量	部品名称	数量
本体 	1	ベース (右)	2	ガイドピン	4
		ベース (左)	2	連結用パーツ	1
				止めネジ 皿ネジM6×12	4
				六角レンチ B=4	1

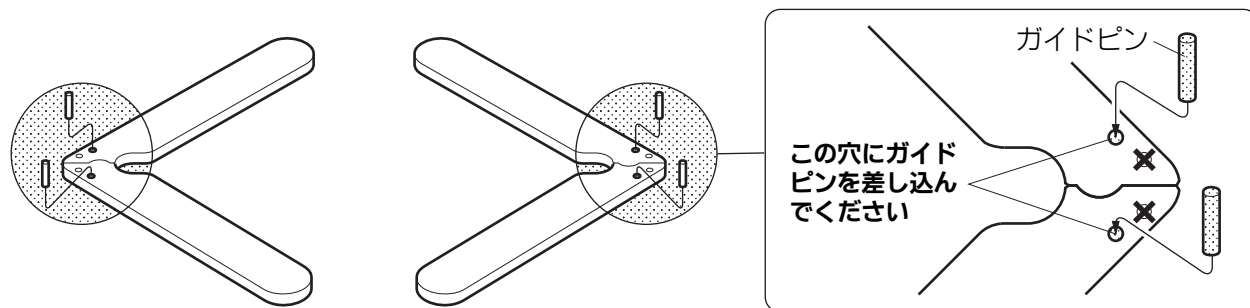
1

- **ベース (右) と ベース (左) を組み合わせ、2組並べます。**  
ベース (右) と ベース (左) をすき間がないように寄せて置いてください。



2

- **ベース (右) と ベース (左) にガイドピンを1本ずつ差し込んでください。**  
ガイドピンを差し込む穴を間違えないでください。



## 使用上のご注意

- ご使用中に支柱が傾いたり、ベースがぐらついた場合は、すぐに止めネジを締め付け直してください。そのままご使用になると製品が破損する原因になります。
- 急激に伸縮したり、斜めに伸縮したりしないでください。クロスへの損傷や伸縮機構の故障の原因になります。
- 直射日光のあたる場所やストーブ等の暖房製品の近くで使用しないでください。製品の変色、変形の原因になります。
- 伸縮機構部に注油しないでください。樹脂部分が変形・変色して破損や故障の原因になります。また、油がたれてクロスや床、衣類を汚すことがあります。

## クロスのお取り扱いについて

- クロスをもむ、にぎる、押す等しないでください。クロスにしわやたわみの原因になります。
- クロスのたわみや変色、汚れの原因になることがありますので、下記のことにご注意してください。
  - ・ 雨や水のかかる場所、または浴室等の湿度の高い場所で使用しないでください。
  - ・ ぬれた床面で使用しないでください。クロスが汚れた水分を吸い上げることがあります。
  - ・ 布用消臭材をクロスに使用しないでください。

## お手入れ方法

### クロスのお手入れ

- クロスは素材の特性により、水やアルコール等の溶剤を使った洗濯ができません。できるだけ汚れがつかないようにご使用ください。(洗濯するとクロスの折り目が取れてしまいます)
- 日常のお手入れは、「乾いた布」または「かたくしぼったぞうきん」でクロスを目にそって上下に軽く拭いてホコリを取ってください。
- 水分を多く含んだぞうきんやクリーナー等は使用しないでください。クロスにしみやしわがでることがあります。
- 水・お茶・コーヒー等をこぼした場合は、時間を置かず乾いた布やティッシュペーパーで水分を拭き取ってください。水分がついたまま放置すると、クロスにしみやしわがでることがあります。

### 支柱・ベースのお手入れ

- 薄めの中性洗剤をやわらかい布に浸し、水分をよく絞って軽くふき取ってください。その後洗剤が残らないように水ぶきし、最後に乾いたやわらかい布でふいてください。
- 汚れを落とすときに、直接水洗いしたり、ベンジン・シンナー・アルコール類、および化学ぞうきん等を使用すると、表面の塗装の劣化や、樹脂部分の変形・変色の原因になります。

## 廃棄について

- 廃棄の際は、専門業者にお任せください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。

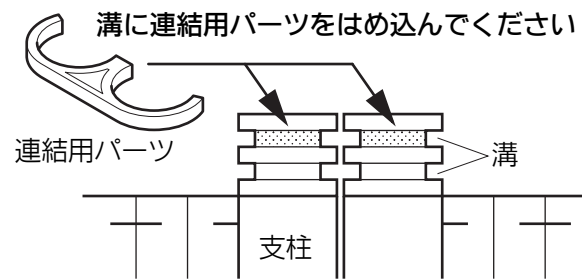
## 連結方法

**注意** ● 連結したままで置き方を変えないでください。連結用パーツが破損することがあります。

- クロスパーティションを近くに寄せて、支柱上部の溝に連結用パーツをはめ込んでください。
- 下図の他にも、L字型に連結することもできます。4台お使いになれば十字型の連結も可能です。
- 連結しない場合は、連結用パーツを大切に保管してください。

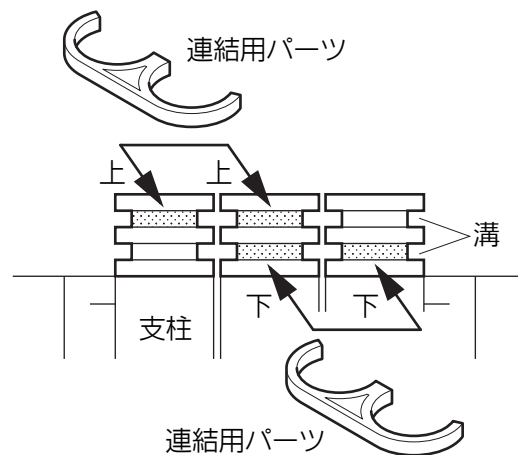
### 2本連結する場合

上下どちらかの溝に連結用パーツをはめ込んでください。ただし、必ず同じ高さの溝に差し込んでください。



### 3本および4本連結する場合

上下の溝に連結用パーツをはめ込んでください。3本連結時は「T字型」、4本連結時は「十字型」のレイアウトになります。

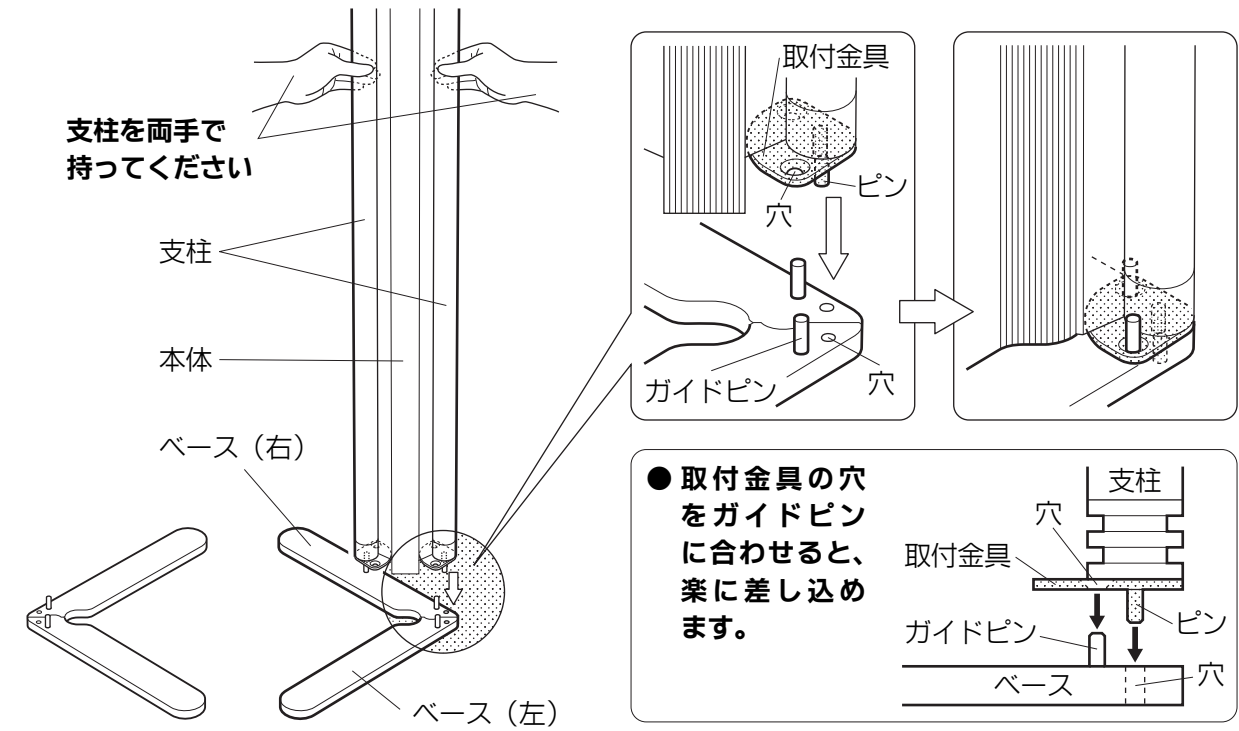


図は3本連結時

3

### ● 片方の支柱をベースに差し込みます。

本体の支柱を両手で持って、ベース（右）とベース（左）に取付金具を差し込んでください。

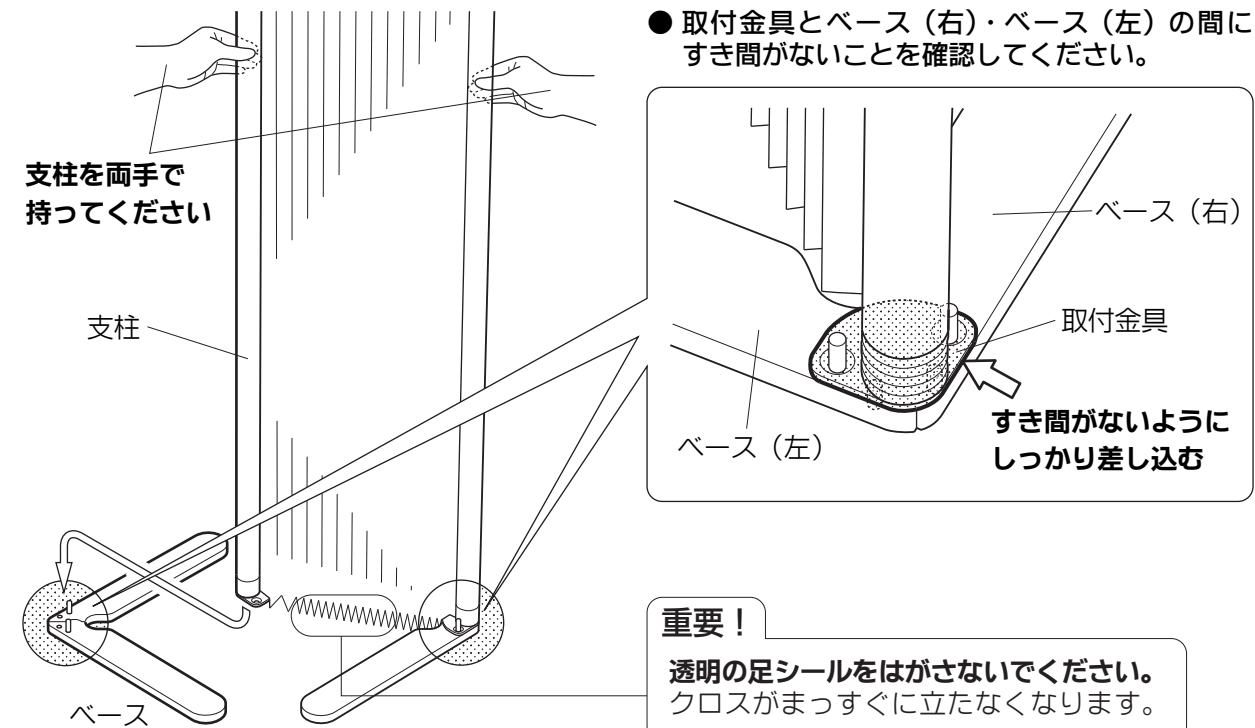


● 取付金具の穴をガイドピンに合わせて、楽に差し込みます。

4

### ● もう一組のベースに支柱を差し込みます。

● 取付金具とベース（右）・ベース（左）の間にすき間がないことを確認してください。



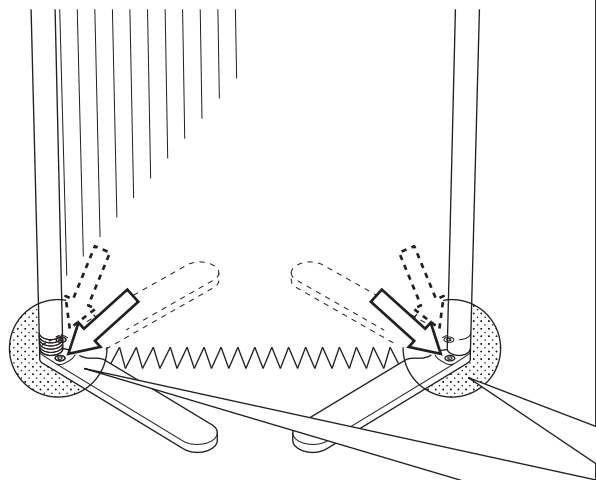
**重要!**

透明の足シールをはがさないでください。クロスがまっすぐに立たなくなります。

5

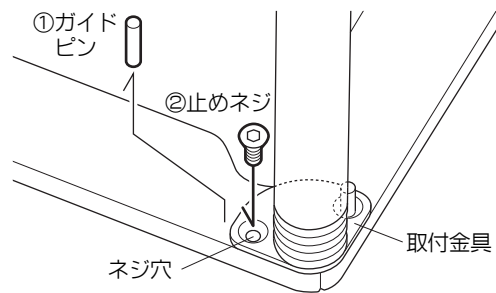
● 取付金具を止めネジでしっかりと固定します。

⚠ **注意** ● 4本のガイドピンを一度に抜かないでください。  
本体が転倒しやすくなり、けがや破損の原因となります。

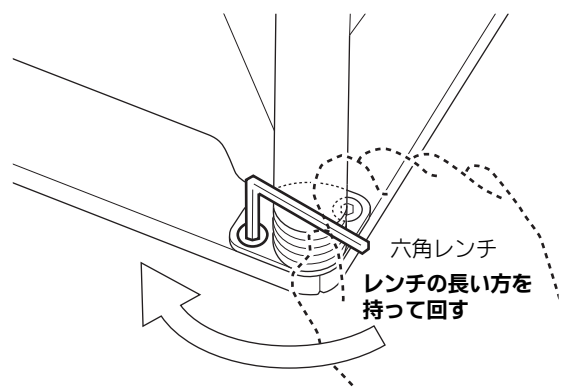


1カ所ずつおこないます

①ガイドピンをはずす  
②止めネジをしめる  
止めネジをネジ穴に「まっすぐに」取り付けてください。止めネジを傾けたまま締め付けると、ネジ穴が破損して正しく締め付けできません。



③止めネジと取付金具が同じ高さになり、六角レンチを回しても止めネジが動かなくなるまで「強く」締め付けます。



※止めネジを「強く」締め付けてください。

止めネジの締め付けが弱いと使用時に  
●支柱がぐらつく・傾く  
●クロスがまっすぐに立たない  
等の原因になります。

6

● ガイドピンと六角レンチは、この取扱・組立説明書と一緒に保管してください。  
● 連結しない場合は、連結用パーツと一緒に保管してください。（連結方法は6ページ参照）

ガイドピン  
(4本)

六角レンチ

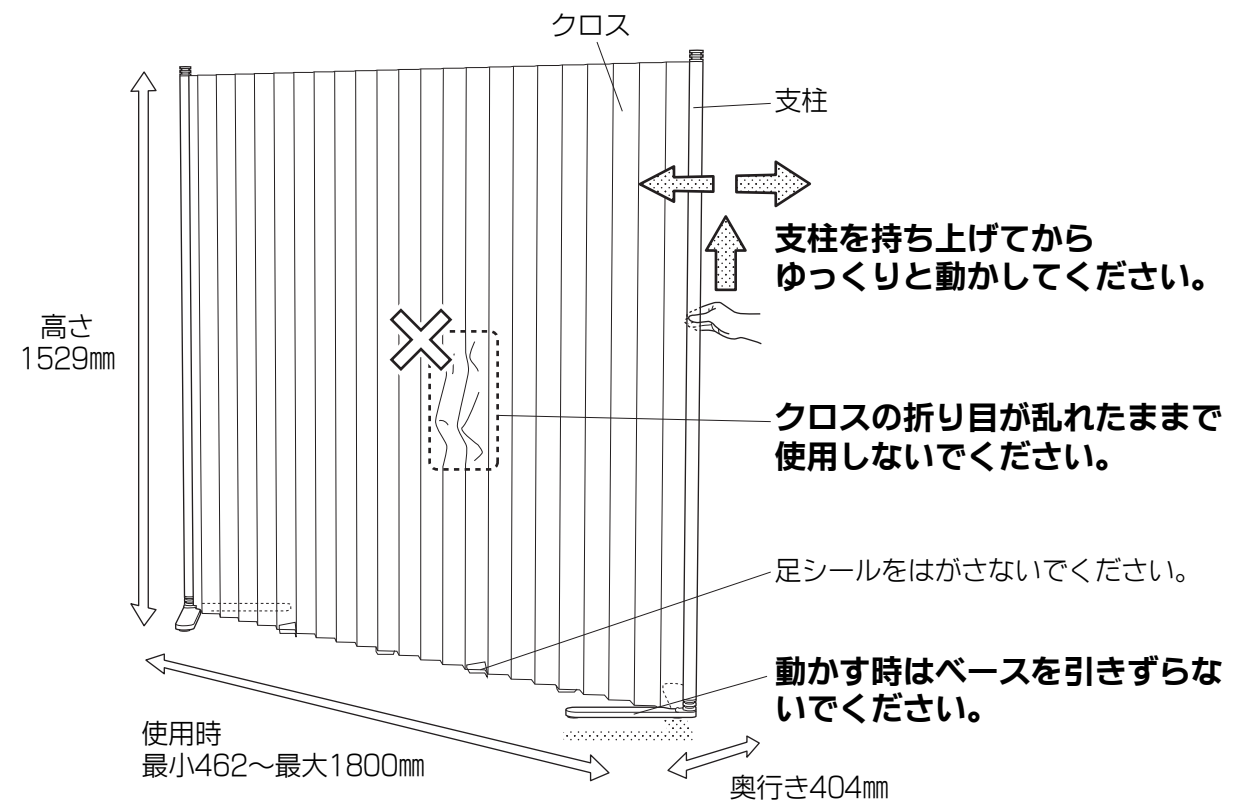
連結用パーツ

以上でこの製品の組み立ては完了です

ご使用方法

⚠ **注意**

- 本製品は簡易間仕切りです。  
ドアの代わりにひんぱんに伸縮をくり返すとトラブルの原因になります。
- クロスを伸縮した時は、クロスの折り目を整えてください。  
折り目が乱れたままで使用すると、クロスの形状保持ができなくなります。
- 支柱やクロスを急激に引っ張ったり、引きずったりしないでください。  
製品が破損することがあります。
- 最大幅を超えて支柱を引っ張らないでください。機構部が破損することがあります。



- 最大幅（1800mm）まで広げるときは、必ず2人で支柱を持ち、それぞれ均等に引っ張ってください。このとき、支柱が内側に倒れないように支柱上部を外側に軽く引っ張ると、より安定します。

